

平成 22 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコ
 代表者名 代表取締役社長 直 江 啓 文
 (J A S D A Q ・ コード 8892)
 問合せ先 執行役員 古 川 格
 電 話 06-6223-8067

平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 2 月 15 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期第 2 四半期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）連結累計期間の連結業績予想と、本日公表の平成 22 年 12 月期第 2 四半期決算の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）連結累計期間 連結業績予想との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期当期純利益
前回発表予想 (A)	13,100	600	250	1,950	5,838 円 95 銭
今回修正 (B)	6,723	609	164	1,740	5,213 円 33 銭
増減額 (B - A)	△6,376	9	△85	△209	△625 円 62 銭
増減率 (%)	△48.7	1.6	△34.3	△10.7	△10.7
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 12 月期第 2 四半期)	10,933	△3,519	△4,382	△8,034	△44,172 円 74 銭

2. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想との差異が生じた理由

売上高については、当初、不動産企画販売事業及びアセット開発事業において上半期に予定していた物件の売却時期が、下半期に変更となったことにより、計画を下回ったものの、営業利益については、事業再生の過程で販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、計画をやや上回ることとなりました。経常利益については、売上高減少の要因となった物件売却時期の変更に伴い、借入返済の時期も変更となったことにより支払利息が増加した結果、計画を下回ることとなりました。当期純利益については、特別損失の発生及び当初計画していた特別利益の計上がなくなったことにより、計画を下回ることとなりました。

以上の理由により、上記の通り業績予想との差異が生じることとなりました。

なお、平成 22 年 12 月期通期連結業績予想については、平成 22 年 2 月 15 日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

以上

※上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。